

名人の時間

風連SCでスポーツ共育を実践して

2年生では、学内を含む“地域”をフレンドリードに様々な活動を行い、その中で、将来、専門職連携を行ったための連携の基礎力を養う「地域との協働Ⅱ」という地

域活動を中心とした授業があります。いくつかのグループに分かれ、私は風連スポーツクラブ主催事業の多種目スポーツに学生スタッフとして関わることとなりました。この事業は小学生を対象として、ミニバレーや鬼ごっこ、ドッヂボール等を行い、身体を楽しく動かすことを大切に活動していました。

大学生は手加減をして対等でいることでも子ども達も全力で楽しんでくれることを知りました。また、鬼ごっこでは、小学生同士が協力して大學生を狙ってくるなど、単純な遊びでも思い切り楽しんでくれる姿にとても嬉しくなりました。

私たちが最初にこなれた活動に行つた時には、小学生のパワーに驚かされました。私が実施内容を考え、運営する機会がありましたが。その際、低

中・高学年で体格や技術の差は大きく、個人の得意不得意がある中で、何をしたら全員が楽しめるのかと悩むことが多くありました。

その際、風連スポーツクラブのスタッフの方に相談してどんな競技なら楽しめるとか、どんな工夫をしたら出来るようになるかと一緒に考えることで、前回よりも楽しい活動ができるようになつていきました。「スポーツ共育」を実感しました。

活動を重ねるごとに、子どもたちとの関わり方が理解できました。最後に、この地域活動を通して、子ども達が言つてくれたことは、私の心に響き、何よりも嬉しい言葉だと感じました。



山のことを教えてくれた方とも沢山お話ししたり、ご飯を食べたりすることができました。さらに、学生間でも協力し合って準備をしたり、相談したりする場面も多く、スポーツを題材に小学生・スタッフの方々・学生といった地域の様々な方と連携して作り上げたこの活動は私にとって大きな財産となりました。